

# 慈雲

1 1 号

2009/12

真宗大谷派 慈雲山 瑞蓮寺

慈雲会

〒604-8214

京都市中京区新町通蛸薬師下る

百足屋町375番地

TEL/FAX (075)221-4616

[zui renji@nifty.com](mailto:zui renji@nifty.com)

SinsyuuOotaniha

JiunzanZui renji

Jiunkai

# 國大夫夫人 名章提希

【『觀經』の言葉】

こくだいぶにん みょういだいけ  
「国大夫夫人 名章提希」

（国の大夫夫人あり、  
いだいけ  
名章提希と名づく。）

名章提希は王妃です。

王舎城の女性の中で  
最も尊い存在というこ  
とで「大」の字があてら  
れています。

何不自由ない暮らし  
で、私たちにはうらやま  
しいかぎりです。

しかし、人間である限  
り、業を受けられないものは  
ありません。

私たちと変わらない  
苦悩もあるはずで

つまり、業を受けてい  
かねばならないという  
点では王妃であろうと、  
庶民であろうとみな凡  
夫です。ですから教えに  
出会えるのです。

## 【帰敬式】

慈雲会会長 小西 慶典

本日は報恩講によろこそおまいり下さいました。

今、東本願寺（本山）では平成23年宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌の特別事業といたしまして真宗本願両堂の御修復という歴史的大事業が平成13年より行われておりまして、今年10月御影堂の修復工事が終わりました。

そして宗祖親鸞聖人の御真影が御影堂への還座式も終わりました。

この喜ばしい時に皆様方と共に報恩講のお勤めが出来ますことを何よりもよろこびとするとおこすです。

又本日帰敬式をお受けになり法名をいただくことができました15名の皆様おめでとうございます。

帰敬式は仏陀・お釈迦の弟子になると云う儀式だと云うことです。

人間としての生き方を仏陀の教えに問い、学んでいこうとする出発が帰敬式ということなのです。

今日が仏弟子としての第二の人生の始まりです。

朝夕の勤行を生活の基本とされ、お念仏を申す生活を今まで以上にお勤め下さいますようお願いいたします。

北村 恭一郎

広さに驚く。

中国の五台山（世界遺産）は山西省にあり中国四大仏教名山の一つである。その規模は周囲50Km、総面積2837K<sup>2</sup>m（京都市827.9K<sup>2</sup>m）に及ぶ。寺院の数は、240以上です。

また、歴史のある大きな寺院ばかりです。山には五つの平らな峰があり、その総称として五台山と呼ばれている。

峰の高さは2474mから3058mです。日本の上高地以上の高地にあります。雪の季節が多く、観光は4月から9月です。移動（バス、徒歩）に時間がかかり大きな寺院群をゆっくり見ても3日〜5日必要かと思われれます。短期の旅行ですべて見るのは無理とおもわれます。（中国は日本に対して、国土は16倍、人口10倍以上。）

私は今年の夏、この地に一泊しました。塔印寺や顕通寺、菩提頂など五台山の代表する寺院群を見て回りました。顕通寺の金色に輝く寺院、大きな塔を見ました。なかでも、輝く寺院の中を見る機会があり、なかに金色の大きな仏さま、中の壁面、天井は金色。壁面一面に手のひら大の金色に輝く仏様が彫られていました。何体あるか分かりません。驚き以上のもので、頭をたれて何をみたのか一瞬わか

りませんでした。：

他の寺院も日本で見なかったことのないものばかりでした。日本からの留学僧も数多くこられた場所としても聞き、すごい場所に来たのだとおもいました。

このような体験をして帰り、その後、瑞蓮寺さんから帰敬式のお誘いがあり、すぐに申し込みさせていただきました。今は、すがすがしく帰敬式を終え、大変ありがたく思っています。

安川 優

由美子

母を九十五歳で一昨年見送り、今秋三回忌を営む前、住職より帰敬式のお話をお伺い致し、この度、夫共々式に臨みました。

当日、報恩講の後、帰敬式に赴き法名を授かりました。

私共には身にあまる法名を前にし、仏様により近ずき、身が引きしまる思いで名に恥じぬよう仏様、先祖様そして皆様感謝し、心静かに日々過ごさせて参りたいと存じます。

ありがとうございます。

合掌

主人を亡くして自分ほどの様に過ごして行けば良いのか、色々迷い。手相、占い等で何人かの人達にも相談にのつてもらったりしました。納得がいかにいいか。不安も自覚もなかつた。仲の良かった、終末近いお友達を見舞つてシヨックを受け、他県に居りました。義父・義母のお葬式・法事に主座し風習の違いに戸惑つたり、考えさせられたり。

愚息達には手を煩わせたくないと思つていますが、思いもかけない自分自身の病気、腰痛・膝痛が始めて、元氣な間に納得して終末を迎える準備をした。と思つた。になりました。

実父はお内仏様には手を合わす姿を一切みかけた事はなく、母はクリスチヤンで両親からは真宗門徒の生活など一切教えて貰つた記憶はありません。

終末を迎える頃になると、「25」の後悔があるそうです。その内の一つにや仏様の事をもつと勉強をしておけばよかつたのにと誰もが反省するそうです。

還暦を何年も前に迎え自分では人生の第4コーナーにさしかかつたものと思つていました。この度法名をたまたわり今からが人生の新たなスタートとして帰敬式を迎える事が出来、皆様に感謝しています。

釋尼廣智

法名と戒名の違いがよくわかりませんでした。が東本願寺では法名を賜る事がわかりました。

その法名ですが親戚の法要に何うとこの度の瑞蓮寺の報恩講で初めて帰敬式に出席させていた。だき剃刀の儀を受けて法名の伝達を受ける事が出来ました。住職のお話の中でその方の人となり面影を思いつつ思考錯誤されたとお聞きしました。

心からお礼申し上げます。

出席者最高齢の佐々木様が感銘深い誓いの辞を述べられました。

私の学生時代に行事のある度に斉唱した恩徳讃を六十年ぶりに口にすることが出来懐かしく思いました。

これから前向きで元氣な余生を送りたいと思います。

報恩講の佳き日に、ご院主様からお剃刀と法名を親娘共に戴きました。

仏門に入った有難さと、生れ変わったような清々しい緊張感で感激の一日でした。

戴いた法名はあまりにも高貴で、私にはもつたいたない思ひです。世の中をありのまま観る「等觀」即ち正見の教えを真宗聖典から抜粹して頂きました。法名に恥じないよう、心して精進の日々を送りたいと思つております。

有難うございました。

藤島 悦子

戒名と法名の違いもわからず、どちらにせよ亡くなつてからのものと今まで関心のないことでもございました。

母が法名を頂くと聞いて、正直「縁起でもない」と思いましたが、ご院主様のご説明を聞き、それならば是非私も授かりたいとお願い申し上げた次第でございます。

この度、釈尼妙響という身にあまる法名を頂戴し、まさに身の引き締まる思い、そして何ともいえぬ感激でいっぱいです。

これから仏法をよりどころとし、日々精進してまいります。

今後ともお導きくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

この度、瑞蓮寺さんのはからいで帰敬式を受けさせていただきました。

緊張した雰囲気の中でおかみそりをしていただき、「ああ、これで、一からの門徒生活が始まるのだなあ。」と身に締まる思いです。

で、一体なにをしなければいいのかなあと自分なりにかんがえています。

でも、よくわかりませんので、お寺さんの話を聞いてこれからよく考えて行動していきたいと思っています。

今、思えば、住職さんは兄のようであり坊守さんは、姉のようです。

先輩の門徒さんは父のようであり、また、母のようです。

つまり、仏さんのもとお寺さんの話をよく聞いて仲良くみんな、仏、法、僧に帰依していこう、と考えました。

いつか、同朋のみなさんとなかよく大家族のように、したしくみほとけのおしえに叶う生活を目指していきたいと思いました。

みなさんありがとうございました。

秋も日一日と深まり木の葉も色取りどりに色づき人の目を楽しませていきます。

去る十一月八日には瑞蓮寺におきまして帰敬式が行われ私も其の席に参加させて戴きました。

初めて聞く帰敬式の言葉に何とも言えない気持で目をとちて考えていました。静かな一ト時御住職が廻ってこられるからおかみそりを一人一人に戴かせて下さいました。

何とも言えない有難い気持に手を合せて人生の喜びと感謝の気持ちで一杯でした。有難うございました。

朝な夕なにお守りして下さる仏様にいつも手を合わせて感謝して暮らしています。

おかげ様で主人共々年を重ねましたがどこ一つ悪い所もなく元気にあちこち廻らせて頂いています。其の上法名まで頂きみ仏様のおそばに一歩近づかせて頂きました事を有難く感謝しています。色々有難うございました。

昨夜御住職から帰敬式について何か一言をとおっしゃられましたので自分の感謝の気持を一言のべさせて頂きました。有難うございました。

七十七才にしてやっと仏様のお弟子にさせて戴き大変もったいなく、又立派な法名を戴き光榮な事と思つて居ります。

法名は死んでから戴くものだと間違つた考えで居りましたが、これは大変な間違いで、生ある時にこそ自分自身のいのちの尊さにめざめた人生を送る事が出来、仏・法・僧の教えを守り命のあらん限り法名に恥じない生き方をしたいと思ひます

合掌

【編集後記】

先日十一月八日に報恩講の後、十五名の方が帰敬式をお受けになられました。

今回の『慈雲』はそのとき法名を授けられた方々のお手紙を掲載いたしました。

来年も皆様にとって良いお年でありますように。

合掌